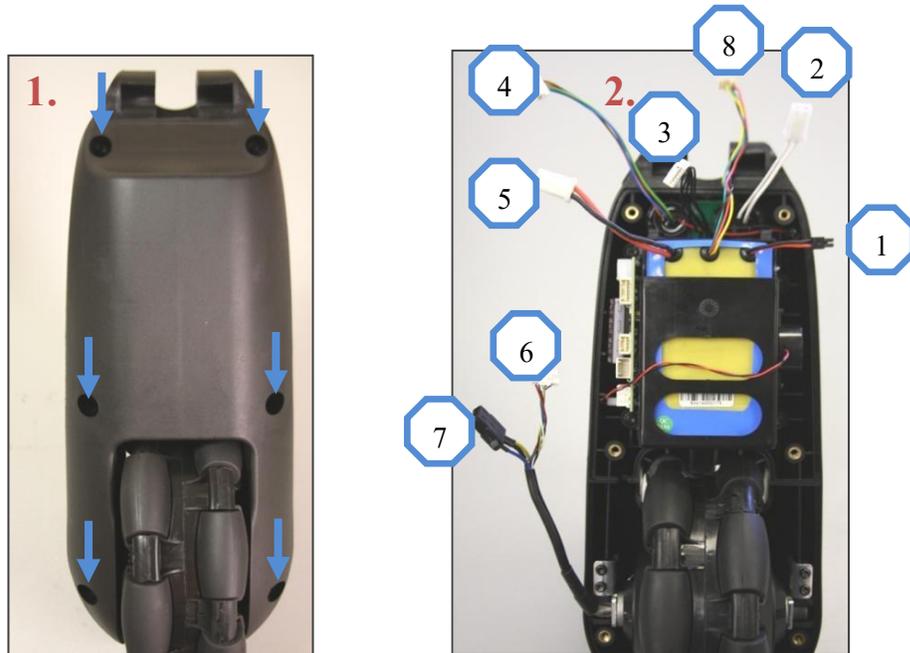
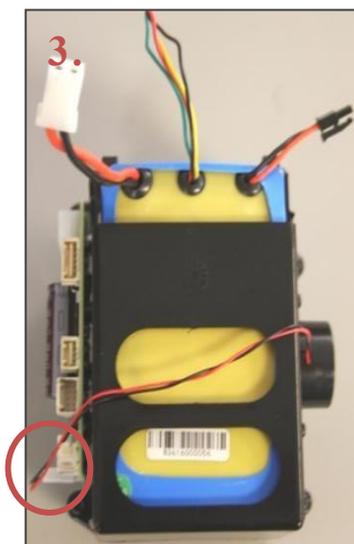


MX2+ ドライブユニット回路基板の交換 (17-05-01)

1. サイズ 3mm の六角レンチでケースの底にある6個のネジを取外します(図1参照)。この時、ネジの頭をしっかり押さえてネジを緩めて下さい。押さえが甘いとネジ頭をなめて、ネジ穴をつぶしてしまいます。ネジを全部取外してから、裏カバーを外します。



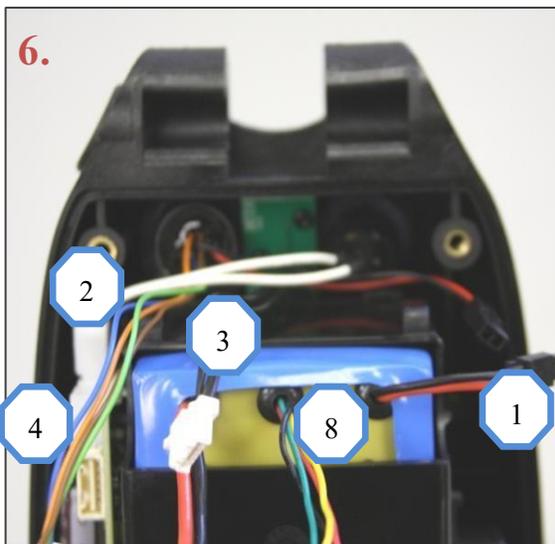
2. 基板から7個のコネクタとバッテリーからの1個のコネクタ(#5)を外します(図2参照)。備考: コネクタ#8はドライブユニットの S/N によっては入っていません。
3. T20トルクスレンチで4個のネジを外し、筐体からバッテリーパックと回路基板のアセンブリを取外します。この2個のアセンブリが外れたら、アセンブリを回っているブザーのコネクタを外します(図)3参照。



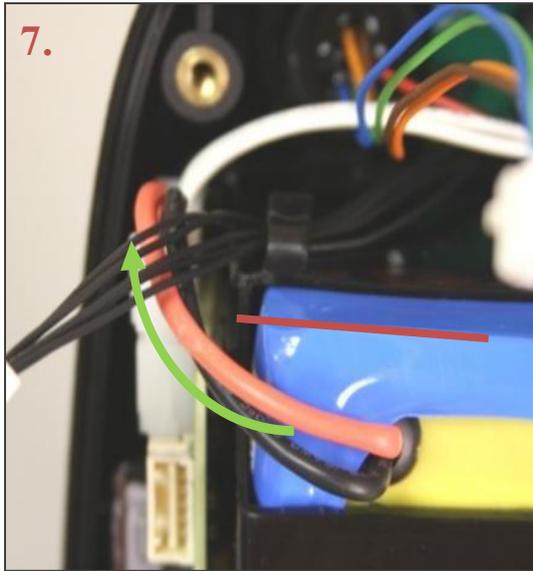
4. T10トルクスレンチで2個のネジを外し、古い回路基板を新しい回路基板と交換します(図5参照)。



5. バッテリーパックを、ゴム輪がインサートの頭から外れないようにして、筐体に落とします。4個のネジを手で絞め、バッテリーを取付けます。
6. まず、#2のコネクタ(トグルスイッチ)をコネクタ#1と#3と#4のワイヤの上を超えて、回路基板 A のスロットに接続します。



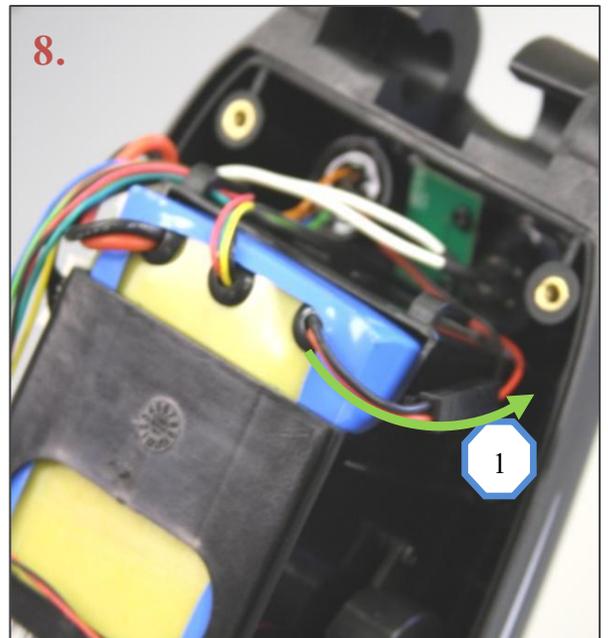
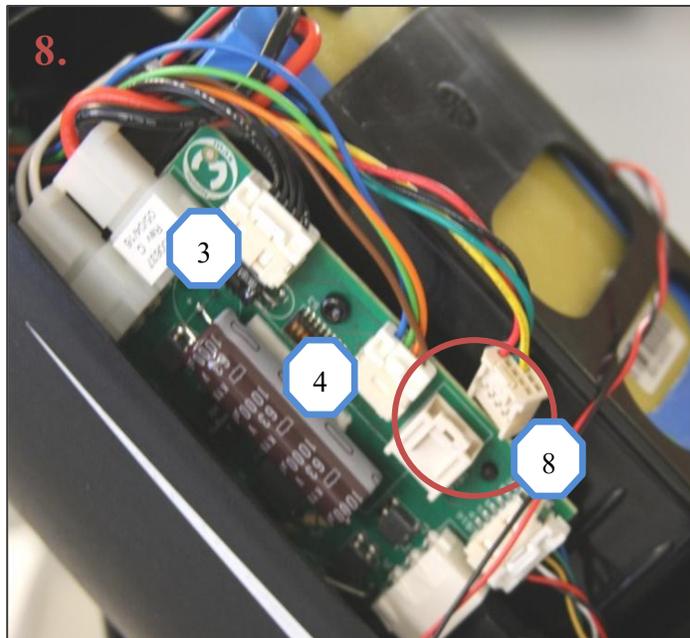
7. #5のコネクタ(バッテリーパワー)を回路基板 B のスロットに接続します。ケーブルは、フロントの端を通るのではなく(図6でフロントの端を赤線で表示)、バッテリーパックの側面を回って通すようにしてください。



8. #8のコネクタケーブルをバッテリー筐体のトップから見て左にあるフックを(右から左へ)通しますが、まだモータのキャリブレーション(ステップ15)が終わるまで、**接続しないまま**にしておいて下さい。

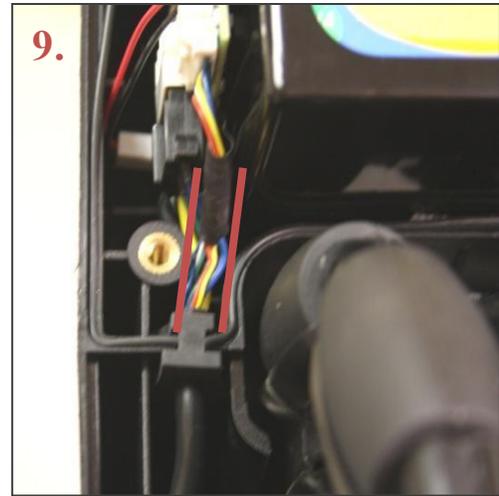
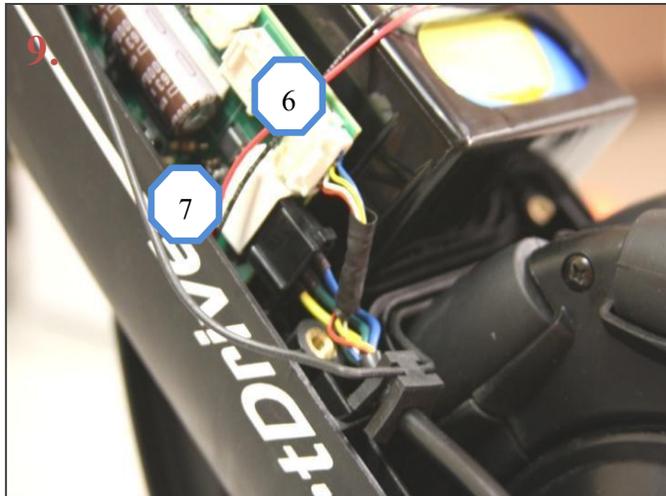
次に、#3と#4のコネクタを、バッテリー筐体の左のフックを(右から左へ)通し、バッテリーワイヤの上を通り、回路基板に接続します。

#1の充電用コネクタは、バッテリーパックの右側面を回り、バッテリーパックの一番右のコネクタに接続します。

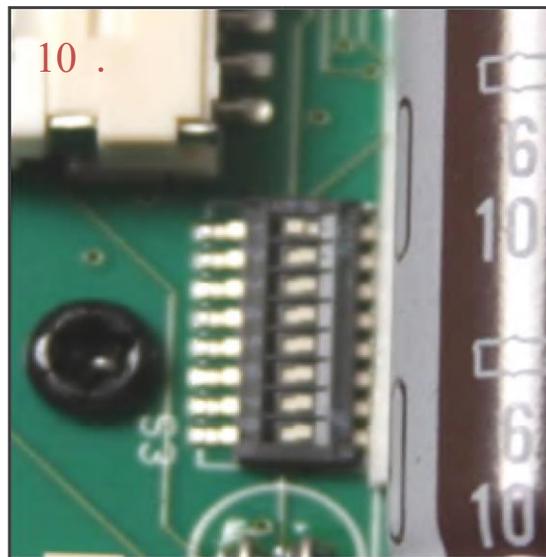


9. #6と#7のモータ用コネクタを回路基板に接続します。 ゴム輪がモータケーブルの周りに有るのを確認してから、ゴム輪とケーブルを筐体のスロットに押し込みます。

全てのワイヤが筐体のスロットに収まり、組立時に下の筐体で挟まれない事を確認して下さい。



10. 回路基板で DIP スイッチの(1)だけが OFF(左側)にある事を確認して下さい
備考: MX2+モデルではモータの | キャリブレーションは必要ありません。



11. ここでプッシュトラッカーとペアリングします。

100m の範囲内にある全てのドライブユニットとプッシュトラッカーは OFF にして下さい。

ペアリングしたいプッシュトラッカーで、APP Connection (右側) ボタンを3秒間、押さえたままにします。右ボタンで設定メニューをスクロールし、左ボタンで **PT※SD** を選び、プッシュトラッカーとドライブユニットをペアリングします。

12. ドライブユニットが正しく機能する事を確認します。

13. モーターケーブルはスロットにあり(ステップ9)、ゴム輪が周囲に正しく置かれている事を確認してから、ドライブユニットの底のカバーを交換し、6個のネジでドライブユニットにしっかり取付けて下さい。

